

(試訳)

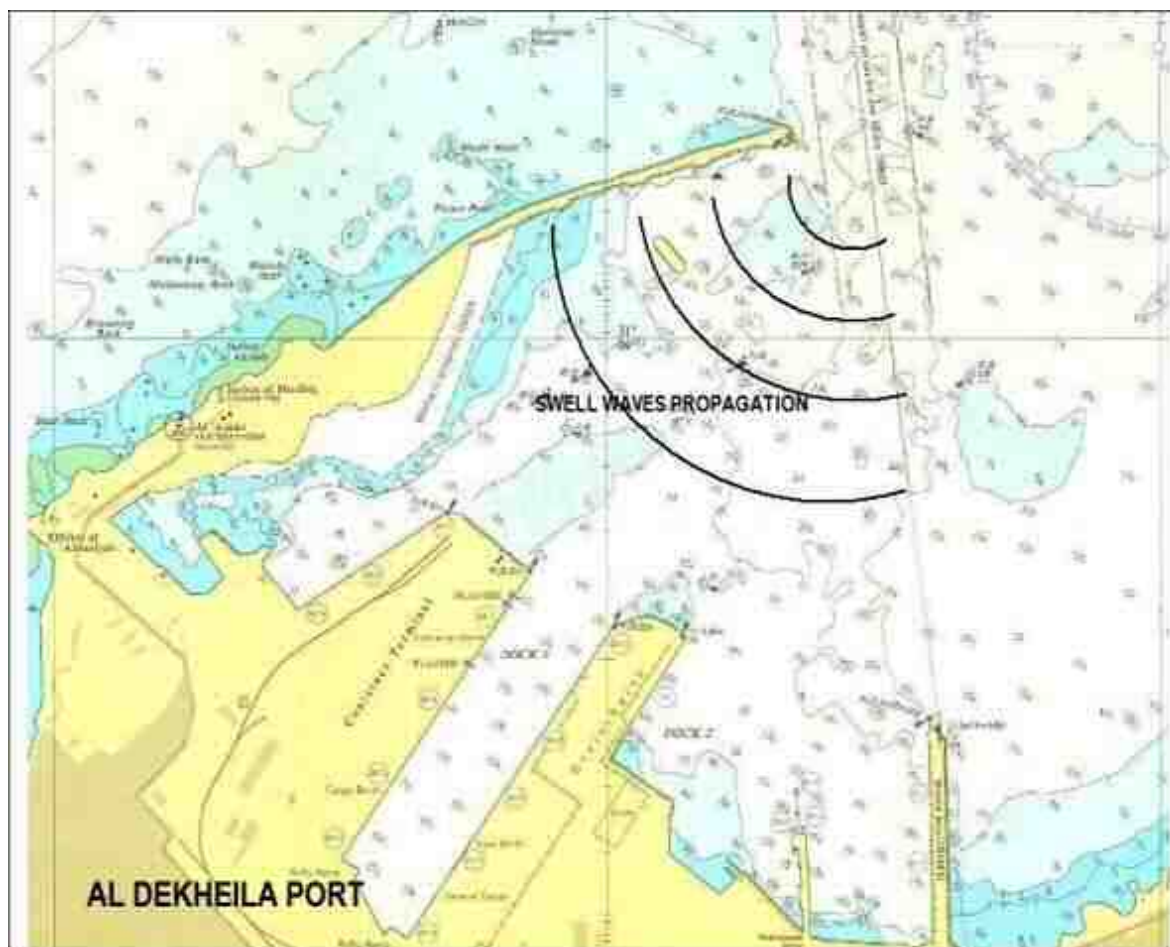
## Alexandria 港及び Dekheila 港におけるフェンダー損傷クレームについて

はじめに：

Alexandria 港及び Dekheila 港におけるフェンダー損傷クレームが過去 2～3 年の間に増加傾向にあります。

これらの港のフェンダーの殆どは古く、メンテナンスも不十分であり、中にはクラックが生じているものもあります。

しかしながら、これらの港に於いて、タグボートによる補助下であっても本船の着岸時にはタグからの過度の力が加わったり、本船の姿勢が岸壁に対して平行とならないような荒い操船となった場合には、フェンダーに損傷が及ぶ場合もあります。



さらに、Dekheila 港の入口は西方に短い防波堤を備えて北向きに海に面していますが、岸壁は全て入口方向を向いており、海流や水深により、岸壁に向かう波のうねりが弱まることなく進入するため、着岸時に大きなうねりが発生し、フェンダーの損傷につながるケースが頻繁に発生しています。

クレーム：

フェンダーに損傷が発生した場合、以下の理由により、Alexandria Port Authority(APA)との交渉は厳しいものとなります。

1. フェンダー損傷の原因が本船側にあるとされた場合、これを否定するためには、港の accident department の当該フェンダーに関する過去の損傷記録を見るしか方法がない。
2. APA は以下のいずれかの方法でクレームが対処されるまで、本船の出港を認めない。
  - ・本船の代理店が本船の責任を認め、本船の出港後ただちに APA の請求額を支払うといった内容の、交渉の余地の無い形式の保証状にサインする方法。APA は特定の状況下でのみ、この形式の保証状を受諾するものである。

- ・APA クレーム相当額の銀行小切手を APA に振り出す方法。
- ・支払条件無しの銀行保証状を発行する方法。

3. APA は PI クラブの保証状を受諾しない。

事故対応：

1. 我々のサーベイヤーにより、損傷が生じたとされるフェンダーの検査、写真撮影を行う。
2. APA の **accident department** にて、該当のフェンダーが過去に他船により損傷が生じた記録がないか確認し、記録が見つかった場合には本船の責任を否定、クレームを取り下げよう交渉する。
3. フェンダーにクラックがある場合は、APA はその損傷程度に関わらず、全損と見做す。この場合、APA クレーム相当額の銀行小切手を APA に振り出す必要がある。
4. フェンダーが外れたり、位置がずれたり、チェーンが切断された場合は、修復可能な損傷であるため、APA に対して銀行保証状を発行、修理業者を手配し、当局の技術委員会が認める状態にフェンダーを修復する。その後、銀行保証状をキャンセルする。この手順により損害を最小限に留めることができる。

クレーム発生を避けるために：

- ・本船の代理店は本船が着岸する前に本船が使用する岸壁に取り付けられたフェンダーを目視点検し、損傷を発見した際は正式に APA に書状を発行することが推奨される。本船の出港時にも同様に目視点検を行うこと。
- ・船長は着岸前に損傷や欠損、あるいは状態が悪いと思われるフェンダーの写真撮影しておけば、これらを **Alexandria Port Authority** に報告するよう代理店に依頼できる。
- ・船主はサーベイヤーを起用し、着岸前、着岸中、出港直後のフェンダーの状態を点検させることができる。
- ・状況により、APA に正式にクレーム提起される前の段階で我々が APA と交渉し、クレームを取り下げることが可能な場合があるため、船長は、フェンダーへの損傷発生が口頭で伝えられた段階でその旨を我々に報告することが求められる。

El Hamamsy Marine Services Ltd,